

3. 「2月県議会」に向け、会派視察を行いました。

民主党・県政クラブ県議団は2月3日（月）～4日（火）の両日、「2月定例県議会」の代表質問ならびに一般質問づくりのため、鹿児島県・宮崎県内の視察を行いました。

今回の視察の主な課題は、我が国のエネルギー供給体制ならびに再生可能エネルギーの在り方について、農畜産業の6次産業化について、でした。

なお、今回の会派視察報告については、私のホームページにアップしていますので、ご覧になって下さい。（<http://haranaka.jp/>）

4. 「2月県議会」が開催されます。

「2月定例県議会」は、2月26日（水）開会、3月28日（金）閉会までの31日間です。

代表質問は3月5日～6日の両日となり、今回、我が会派の代表質問は新村雅彦議員（福岡市南区）です。そして、一般質問は、3月7日～12日の予定です。私は、今議会でも一般質問に登壇します。

なお、「2月議会」は毎年、会期中に「予算特別委員会」が開催されます。今回、私も委員の一人として、「平成26年度福岡県予算（案）」の審議に加わります。

県議会は、代表質問、一般質問、「予算特別委員会」の、いずれも傍聴が可能です。受付で簡単な手続きをして頂ければ、どなたでも議会傍聴できます。是非、議会傍聴にお越し下さい。



県議会棟



本会議場内



特別委員会室

5. 福岡空港の在り方について審議しています

私は「空港対策調査特別委員会」に所属しており、福岡空港の過密化対策、福岡空港国内線旅客ターミナルビル再整備事業、福岡空港の民営化、滑走路二本化などの審議を行っています。

このうち、福岡空港国内線ターミナルビル再整備事業については、福岡空港の「平行誘導路二重化」事業に合わせ、「福岡空港ビルディング（株）」が実施するもので、事業費は約380億円（同ビルディングの現有資金＋銀行借り入れ）となります。

事業の内容は、①第1ターミナルと第2ターミナル南側部分の撤去・新設、②第2ターミナル北側部分と第3ターミナルビルの全面改修となります。

事業期間については、2014年11月までに実施計画を行い、2015年4月からターミナルビルの建設工事に着手、2019年3月完成予定です。

現1ビル・2ビルの撤去（セットバック）→新1ビル建設、2ビル・3ビルの再整備後は、「固定スポットエリア」（駐機場）の拡大により、飛行機の離発着がスムーズになり、離発着時間の短縮が進むことで、年間4,000回分の離発着が増えることになります。

また、福岡空港の「滑走路二本化」事業は、2015年には環境アセスメントが終了予定で、アセス終了後に用地取得や埋蔵文化財調査を行い、それから本体工事に入ります。本体工事は約7年かかる見込みで、第二滑走路の運用開始は2025年頃になると思われます。